

学校番号	17	学校名	静岡県立静岡南部特別支援学校	校長名	川崎 みどり
------	----	-----	----------------	-----	--------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

- 自ら学ぶ子：学ぶ喜びを感じながら主体的に学び、考え、行動する子
- 生活を高める子：自分や仲間を大切にし、互いを認め合い、共に生きる子
- 心豊かな子：健康で豊かな感性をもち、表現する子

(2) 目標具現化の柱

【守り認め合う（安全・安心）】

- 命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校
- ア 児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切に学校生活の充実
- イ 安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実

【学び高め合う（専門性）】

- 学びの連続性を意識した授業実践を行い、児童生徒の将来へ向けた希望を支える学校
- ウ 個別最適な学びを充実させ、学びの積み重ねが分かる教育活動の実践
- エ 児童・生徒が笑顔で夢中になれる授業の充実

【つながり合う（連携）】

- 児童生徒の学びを支えてくれる人への感謝の気持ちを伝え、共生社会づくりに貢献する学校
- オ 地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実
- カ 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進

【支え合う（チーム）】

- 教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む学校
- キ 資料や校務のDX化を推進し、語り合う時間の確保と時間外勤務の削減

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【守り認め合う（安全・安心）】

- 命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切に学校生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と一緒に活動する機会や役割のある学習活動を設定する。 ・生徒の興味関心があることや得意とする活動を活動の中心とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が安心して人と関わることができている。 	学部
		<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の視点をふまえた人権研修やディスカッションを行い、重度重複障害の児童生徒にとっての人権を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、児童生徒一人ひとりの立場に立った、人権について考え、意識をもって児童生徒に関わっている。 	教務・生徒指導課
イ	安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを教職員がいつでも日常的に確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、予告なし避難訓練や緊急時に行わなければならないことを考え、行動できている。 	保健安全課

様式第1号

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据えた、学びの連続性を支える学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	個別最適な学びを充実させ、学びの積み重ねが分かる教育活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・学部会や掲示板上で、単元カードや授業カードを共有し、話し合っにより良い授業を目指す。 ・協力して学習の準備をし、授業後は評価を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は、児童・生徒の成長を共感し、個々の次の目標を明確に設定できた実感している。 	学部
		<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の「コミュニケーション」と「身体の動き」を中心に実態把握を行い、明確化した個々の特性を学習計画に反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒がコミュニケーションツールを使い、自分から伝えたり動かそうとしたりすることができている。 	自立・情報課
		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルプラットフォームと統一様式について理解し、活用する。 ・保護者にわかりやすく説明したり、関係機関と情報共有を図ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は、統一様式を活用して児童生徒の学びの積み重ねを把握し、学習内容や目標を明確にできた。 	教務・生徒指導課
エ	児童・生徒が笑顔で夢中になれる授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・問いや考えを引き出すための教材教具や授業展開について、チーム研修で話し合い、授業改善を行う。 ・「〇〇したい！」を「できた」に変える支援方法を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が「できた、もっとやりたい。」を自己表現し、自ら取り組んでいる。 	研修課

【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

オ	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に合った活動内容の設定。 ・今までのつながりがある地域、関係機関に感謝を伝える場面の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、教職員、保護者がこれまでの感謝を伝えながら地域交流をし、お互いに交流をして良かったと感じている。 	進路地域支援課
カ	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校間交流で、児童・生徒が互に関わったり触れ合ったりする場面を設定し、学習を楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の友達やなじみのない人とのやり取りを受け入れたり楽しんだりしている。 	学部

【支え合う（チーム）】

教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む学校

キ	資料や校務のDX化を推進し、語り合う時間の確保と時間外勤務の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の持ち方を工夫し、協議事項に時間を掛けられるようにする。 ・校務での生成AIの活用について具体例を示す。 ・専門的内容については、外部の専門家間、他校の教員間と連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、児童・生徒のあられや授業、環境設定等についてより充実した話し合いができています。 	学部 教務・生徒指導課 自立活動情報課
		<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度定時退勤日を設定する。 ・学部内業務の偏りが無いように分担をし、組織的に共同作業ができるようにする。 ・閉校に向けた業務の計画を立て、見通しをもち、協働して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務が月45時以下である教職員100% ・教職員は主体的に閉校に向けての業務に携わっている。 	学部